

河内小学校通信

第40号

令和4年11月28日(月)

文責：校長 平塚 学

コロナ対策の徹底をお願いします

本日、新型コロナウイルス感染症の陽性による出席停止が4名、発熱による出席停止が1名、家族の発熱による出席停止が3名と、新型コロナウイルス感染症関連による出席停止が8名いました。第8波に入り、郡山市内でも新規感染者数が増加しております。学校でも今まで実施してきた手指消毒、手洗い、教室の換気、ソーシャルディスタンスの確保、マスクの着用の徹底を続けて参ります。さらに、しばらく一斉清掃ではなく学級清掃としていきたいと思ひます。各家庭におかれましても、以下の協力を再度お願いします。

1. 毎朝の検温と健康観察の徹底をお願いします。また、下校後等の健康観察も併せてお願いします。
2. 万が一、発熱やのどの痛み等体調が悪いときは無理をせず療養し、医療機関の受診等をお願いします。
3. 同居家族に発熱等のかぜ症状がありましたら、医療機関での受診結果が分かるまで登校を控えてくださるようお願いいたします。(出席停止扱いとなります)

郡山市 PTA 連合会第58回研究大会報告

24日(木)18時30分よりオンラインにより、令和4年度郡山市 PTA 連合会第58回研究大会が開催され、PTA 役員と校長・教頭がオンラインで参加しました。あいさつ等の後、大会宣言と決議が採択されました。その後は、新潟県上越市のさいがた医療センター 精神科医 熊谷 航一郎 様による「家庭でのメディアリテラシー」についての講演がありました。



内容はゲーム依存となった若者に対する回復プログラムについてでした。かなり重症な若者に対する話でしたが、参考になることも多くありました。その一つが、「説教、正論、取り上げは無意味かつ有害」と言うことでした。ではどうすればよいかということとして、以下のような点を上げていました。

〔子どもができること〕

- ・ 使う時間を決める。
- ・ ルールを決める。
- ・ 布団にスマホやゲームを持ち込まない。充電は机の上です。
- ・ 家族や友達と遊ぶときはスマホから離れる。

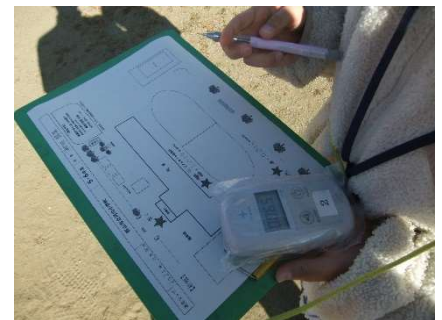
〔親がすること〕

- ・ 使用ルール(時間、ゲームの種類、課金、SNS など)を最初に決めておく。
- ・ スマホ、ゲーム、ネットは共有スペースで使用する。
- ・ ルールを決めたら、親も守る。

放射線についての授業を行いました

18日(金)に環境再生プラザの方々をお迎えし、5・6年生の放射線教育の授業を行いました。1～4年生については、9月15日に行ったので、学校だより29号をご覧ください。

3校時は、校地内の放射線の測定でした。一人一人に放射線測定器が渡され、環境再生プラザの方から使い方を習い、決められた地点(校庭の測定ポスト)の放射線を計測していきました。はじめに計測したのが、校庭にあるモニタリングポスト。モニタリングポストの測定器が小学生のおなかの高さである50cm付近に設置されていることも教えてもらいました。その後、体育館付近や遊具付近、百葉箱付近、玄関など様々な場所の放射線量を測定しました。



4校時は、鳥取大学の北 実(きた まこと)先生とオンラインでつないで、お話を聞きました。内容は、

1. 校庭で測った数値は何か。
2. 単位 $\mu\text{Sv/h}$ は何と読むか。
3. Svは何を表すか。

4. 1時間当たりの放射線は、場所によってどのように違うか。

等でした。 $\mu\text{Sv/h}$ はマイクロシーベルトパーアワーと読み、1時間続けた場合に受ける放射線の量で、「 $1\mu\text{Sv/h}$ 」であれば、その場所に1時間続けた場合に受ける放射線の量(身体への影響の度合い)は1マイクロシーベルトになるとのことでした。Svはシーベルトと読み、身体への影響の度合いを表す単位です。

驚きだったのは、河内小の空間線量が $0.068\mu\text{Sv/h}$ だったのに対し、北先生がいる鳥取大学の空間線量が $0.108\mu\text{Sv/h}$ と鳥取大学の方が高かったことでした。除染によって、福島県内の空間線量が下がったことが分かりました。

最後の質問コーナーでは、人間に危害を与える放射線量についての質問が出され、北先生からは年間 1mSv ($1000\mu\text{Sv}$)を超えると人体に影響が出る可能性があると言われていたという話がありました。

とても学びがいのある放射線教育講座となりました。鳥取大学の北先生、そして環境再生プラザの方々、ありがとうございました。

